



令和6年度

WWL（ワールド ワイド ラーニング）コンソーシアム構築支援事業
～Snow Crystal Project in HOKKAIDO～
カリキュラム開発拠点校 北海学園札幌高等学校

ニュース リポート 第6号 2024（令和6）年8月27日（火）

北海道平取高等学校PRESENTS WWL探究！アイヌの生活・文化 実施

8月23日（金）、事業連携校である北海道平取高等学校が主幹となり、アイヌの生活や文化を学ぶ機会が設けられ、本校から26名の生徒が参加しました。また、WWLに興味があると、北海道大学大学院生の河合さんも参加されました。

今年はプログラムの中に新たな内容を盛り込みました。

全国から応募してきた大学生の皆さんが平取町で5日間過ごし、アイヌ文化振興とまちづくりを考える「大地連携ワークショップ」が行われていて、大学生の皆さんのプレゼンを見学しました。アイヌ文化の普及、アイヌの芸術のPR、アイヌの言葉の学習振興といった観点から多くの提言があり、いずれのプレゼンも興味深い内容でした。3年生にとっては、総合系や推薦系入試の参考にもなったことと思います。

ワークショップ見学後は、二風谷アイヌ文化博物館を見学し、アイヌの生活、芸術、文化全般について展示品を見ながら、当時の生活をイメージしました。また、午後のワークショップにおいて話題にすることに留意しながら見学を楽しみました。

昼食後は二風谷ダムを見学してから平取高等学校を訪問しました。まずはアイヌ研究でとても有名な関根健司先生によるアイヌ文化に関する講話をお聞きしました。そして、その後は、両校生徒が6つのグループに分かれてワークショップを行い、アイヌ語とアイヌ文化の普及・振興について、関根先生のお話も参考にしながら、できることを高校生の視点で話し合い、最後に発表して内容をシェアしました。

SDGsや多文化共生を考えると、身近な地域と身近な人から学ぶことは非常に大切だと考えます。

